

平成26年度 循環型社会形成推進地域計画 改善計画書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
北但地域	豊岡市・香美町・新温泉町	平成18～24年度	平成18～24年度

1 目標の達成状況

平成26年度循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書において、目標を達成できていない事項は、下表のとおりです。

	現状	目標 (A)	実績 (B)	実績(B)/目標(A)
(1) 再生利用量 総資源化量	10,205t	14,331t	8,074t	56.3%
(2) 最終処分量 埋立最終処分量	8,435t	2,902t	5,284t	182.1%

2 要因の分析

(1) 再生利用量 総資源化量

ごみの排出量が減少したことと、平成25年度より新施設を稼働し施設から発生する焼却灰及びばいじんについては、全てセメント原料として再資源化する計画としていたが、施設の稼働が3年遅れたことにより、焼却灰及びばいじんの資源化が減少したことが要因として考えられる。

(2) 最終処分量 埋立最終処分量

平成25年より新施設を稼働し施設から発生する焼却灰及びばいじんについては、全てセメント原料として再資源化する計画としていたが、施設の稼働が3年遅れたことにより、焼却灰及びばいじんの資源化が達成できず最終処分されたことが要因として考えられる。

3 改善計画

(1) 再生利用量 総資源化量

燃やすごみの中には、まだ多くの資源化物が含まれており、ごみの再資源化をより一層促進するため、排出者に対して、広報・啓発活動等により資源ごみの分別の徹底について協力を求めていく。

また、平成28年度より稼働を予定している新施設から発生する焼却灰及びばいじんについては、全量をセメント原料として資源化する計画である。

(2) 最終処分量 埋立最終処分量

排出者に対してごみの減量・再資源化に関する意識や排出マナーの向上を図るため、広報・啓発活動をより一層推進し、最終処分量の減量化を図る。

また、平成28年度より稼働を予定している新施設から発生する焼却灰及びばいじんについては、全量をセメント原料として資源化し、最終処分量の減量化を図る計画である。